



著 クリスティーナ・ブホル・ブイガス 絵 レーナ・オルテガ 訳 長野 由美

むてっぽうな 女性探検家ずかん

じょせいたんけんか



岩崎書店

もくじ



エゲリア 4
4世紀ころ
ガウエキア出身

旅先をめぐり、世界ではじめて
旅行記をかいた女性



ジャンヌ・バレ 8
1749~1807年
フランスのフ・コメル出身

船ではじめて世界を一周した女性



マリアヌ・ノース 12
1830~1890年
イギリスのヘイスティングス出身

5大陸をめぐり博物学者としても
活躍した画家



メイ・フレンチ・シェルドン 16
1847~1926年
アメリカのペンシルバニア州ブリッジウォーター出身

型やぶりのアフリカ探検をした女性



メアリー・キングスリー 20
1862~1900年
イギリスのイズリントン出身

アフリカのジャングルを探検した女性



アニー・ロンドンダリー 24
1870~1947年
ワトピア出身

自転車ではじめて世界一周をなしとげた女性



グズリーズ 6
980~1060年ころ
アイスランドのラウガルブレッカ出身

新天地を夢みた
海上の民ヴァイキングの女性



サカジャウェア 10
1788~1812年
アガイア族
(現在のアメリカのアイダホ州)

ルイス・クラーク探検隊のために
太平洋までの道をまひらいた女性



イザベラ・バード 14
1831~1904年
イギリスのポロブリッジ出身

馬に乗ってロッキー山脈を旅し、アジアにも
訪れた女性



ネリー・ブライ 18
1864~1922年
アメリカのペンシルバニア州のクラウンズ・ミルズ出身

72日間で地球一周を達成した女性



マーガレット・ファウンテン 22
1862~1940年
イギリスのノリッジ出身

世界中を旅して、蜂をあつめた女性



グレース・ドラモンド・ハイ 26
1895~1946年
イギリスのリバプール出身

飛行機で、はじめて世界一周した女性



アメリア・イアハート 28
1897~1937年 (消息不明)
アメリカのカンザス州アチソン出身

女性として始めて、飛行機で大西洋を
横断



クレレノーレ・シュティネス
..... 32

1901~1990年
ドイツのミュルハイム出身

自動車で、はじめて世界一周を達成



シルビア・アール 36
1935年~

アメリカのニュージャージー州ギブスタウン出身

海底を調査した深海の女王



ワレンチナ・テレシコワ 40
1937年~

ロシアのマスレニコヴォ出身

女性初の宇宙飛行士



ロージー・スウェイル・ボーフ
..... 44

1946年~
スイスのダボス出身

5年かけて、マラソンではじめて世界一周した女性



ケイ・コッティ 48
1954年~

オーストラリアのシドニー出身

ヨットで、単独ではじめて世界一周をした女性



エルスベス・ベアード 52
1959年~

イギリスのロンドン出身

オートバイで世界中を旅した女性



アレクサンドラ・ダヴィッド=ネール
..... 30

1898~1969年
フランスのサン・マンア出身

中国中のチベットを旅した探検家



イブ・シムズ 34
1923~2008年

イギリス出身

アン・デイビス 34
1932年~

イギリス出身
南アフリカのヨハネスブルク出身

ヒマラヤを横断した3人の主婦



ヘレン・セイヤー 38
1937年~

ニュージーランドのオークランド出身

単独で、北極点にあるいて到達した女性



田部井淳子 42
1939~2016年

日本の福島県出身

エベレストに登頂した初の女性



ロビン・デビッドソン 46
1950年~

オーストラリアのマイルズ出身

オーストラリアの砂漠を
あるいて横断した女性



リン・コックス 50
1957年~

アメリカのマサチューセッツ州ボストン出身

冷戦下のアメリカとロシアのあいだを
およいで渡った女性



読者あとかぎ 54

あなたの家は？



イザベラ・バード

まだ見ぬ世界をめざして旅した
レディ・トラベラー

バードは山男ジムと、じょうぶな備えなしで標高 4,429m の山 ロングズ・ピークにのぼりました。バードが山登りにはいていたのは、はきふるされ、すてまあったブーツでした。

中国と日本を旅した経験がみとめられ、バードは女性としてはじめて英国地理学会の特別会員にえらばれました。



「なさけない目ですが、わたしは腰にロープをむすんでもらい、ジムになんども引きあげてもらいました。息が切れてあえぎあえぎ山をのぼり、足も思うようにうごいてくれませんでした。さいごに、もう一度つよくひっぱりあげられたとき、とうとうロングズ・ピークの頂上についたとわかりました。山から見る景色はすばらしく、わたしはひざまずき、神さまに感謝しました。ジムのほろを見つめると、彼はじっと立ちつくしたまま、つらなる雪山をなつかしむようにながめていました。そして、ジムがふりかえり、わたしたちはじっと見つめあいました。イギリスレディとアメリカのならず者。なんて奇妙なカップル！ わたしたちは名前と日にちをブリキのコップに書いて、地面のわれ目において山を下りました」

1831年（日本では江戸時代の終わり）、イザベラ・バードは英国国教会の牧師の娘として生まれました。バードは体が弱

く病気がちでしたが、両親は彼女の自立心を養うことを大切に育てました。18歳のとき、育中の痛みになやまされ、数か月のあいだ病床につきます。弱っていくバードに、ある日、医師は旅をすすめました。そしてカナダ旅行をきっかけに、バードの人生は一変します。父親が亡くなり、彼女は相続したお金で、まだ見ぬ世界をめざして旅立ったのです。

1872年、41歳でハワイに到着、そこで馬にまたがる方法をおぼえます。それまで女性は、馬にのるときは横ずりかあたりまえでした。ところが馬にまたがると、育中の痛みがうそのように軽くなったのです。その後、ハワイ諸島で出会った人々と自然にあとおしされるように、バードは子どものころから思っていたロッキー山脈をめざすことにしました。アメリカの旅で出会う男たちは、みんなおどろきの声をあげ



「とうとう、さがしもとめていた場所へついたので！そこは、わたしの想像をはるかにこえていました」



クマに出くわしたとき、バードは死んだふりをしました。さいわいクマは、においだけかぐとその場を去っていきました。

ました。それもそのはず、身長 150センチのこがらなイギリス女性が、ひとりで山をのぼるなんて信じられなかったのです。馬にのり、けわしい道を旅しながら、ときにクマと出くわし、山小屋でカウガールとしてはたらし、ならず者でも扱はやさしい山男ジムと恋に落ちました。イギリスの伝統社会のならわしや形式ばった行動など、人々の期待にこたえる日々からはなれて、バードはしあわせを感じていました。ロングズ・ピークを下りたあと、山小屋にもどり鏡を見たとき、ほほえんでいる自分のすがたにはっとします。すずむべき道がわかったのです。

日本横断の旅

「1,200 マイルを危険な目にあうこともなく、まったく安全な旅でした。日本ほど、女性がひとりで旅をしても危険や無礼なおこないと無縁でいられる国はないと思います」

その後も、バードは旅をつづけます。1878年（明治11年）には、日本横断のために横浜港に到着します。東京から日光と新潟をぬけて、北海道へいたるルートの旅でした。日光より北を横断した西欧人はひとりもいなかったため、彼女が記した旅行記、とくに北海道でのアイヌの人々のくらしぶりの紹介は、のちに『日本奥地紀行』として本が出版され、当時の日本を知る貴重な資料となりました。



ワレンチナ・テレシコワ

宇宙をはじめて旅した女性



1963年1月16日から19日まで、ワレンチナは宇宙で71時間を過ごしました。彼女は、宇宙船ポストーク6号にのって、地球を48周しました。

「3、2、1... カウントダウンにあわせて、心臓がドクドクなる音が聞こえてきました。宇宙船が打ちあげられた瞬間、ものすごい力がはたらい、わたしの体は座席に強くおしつけられました。(星の時間)がはじまったのです。わたしたちは宇宙船の打ちあげのことを、そうよんでいました。全世界に向けて、わたしは大きな声でさげびました。『さあ、天空よ、ぼろしをぬいで！ 今、そっちへむかっているところよ！』」

1937年(日本では昭和12年)、ワレンチナ・テレシコワは、モスクワ北部の町で生まれました。父親はフィンランドとの戦争で亡くなり、ワレンチナは母親と2人の兄弟で生きていくために、働かなければなりません。子どものころの夢は、電車の運転士になって世界

を知ることでした。ところが22歳のとき、天から音がかったかのような出来事がおこりました。スカイダイビング教室の広告を見て、パラシュート飛行士に挑戦しようと思ったのです。これが彼女のあたらしい人生のはじまりになるなんて、その時は思いもしませんでした。

1961年(昭和36年)4月12日の朝、ワレンチナはラジオで、ユーリ・ガガーリンが人類初の宇宙飛行を成功させたことを知りました。そのとき、ロシア軍が女性パラシュート飛行士の中から、宇宙飛行士を募集していることを耳にします。ワレンチナはこの募集にこっそり申し込み、5人のうちのひとりに選ばれたのです。

ワレンチナは、仲間といっしょに勉強と訓練にはげみました。宇宙へ行くことは、男女かわからず、とても危

「わたしはカモメ(ヤー・チャイカ)」
ワレンチナが宇宙で最初に発した言葉として有名です。



ワレンチナが応募したときの宇宙飛行士になるための条件

- ・18歳以上30歳以下であること。
- ・身長170cm未満、体重70キロ未満であること。
- ・パラシュート降下がとくいであること(着陸時、宇宙船のパラシュートで着陸するため)。
- ・独身であること(ワレンチナは地球に着陸したあと、仲間の宇宙飛行士と結婚しました)。

「宇宙にいと、地球がほんとうに小さくて、こわれやすいものだと気づくアハハ！」

険なことでした。そして数々の練習をかきねた結果、宇宙船ポストーク6号打ちあげの1か月前、なんとワレンチナがパイロットをつとめることになったのです。しかし、このプロジェクトはすべて秘密にすめられ、ワレンチナの母親さえ、何がおこっているのか知りませんでした。ロシア政府は、アメリカに先を越されることを恐れていたのでしょう。

1963年6月16日、26歳のワレンチナは星にむかって飛びたちました。彼女のミッションはとても過酷で、地球を48周するあいだ、はきけと嘔吐でひどく苦しみました。それでも、予定された実験をこなし、71時間の宇宙滞在を終えたあと、最後はパラシュートで地面に下りたちました。

地球にもどると、ワレンチナはヒロインとして扱われましたが、宇宙へもどることは許されませんでした。それから20年後、べつの女性が宇宙へ飛びたてていきます。ワレンチナは宇宙へもどる夢をあきらめず、火星探査へのミッションに参加する夢を持ちつづけました。彼女は、こんな言葉をのこしています。「星に近づいた人は、魂のかけらを星にのこしてくるのです」



たべいじゅんこ 田部井淳子

女性ではじめて
エベレスト登頂に成功した登山家

エベレストに登ることができたのは、体力とか技術ではありません。本当にやろうとする意志のつよさです。意志はお金では買えません。だれかにもらうこともできない。心のそこからわきあがってくるものです。



それは、あつというまのできことでした。大きなとどろく音が聞こえたかと思うと、つよい打撃をうけてながされたのです。しばらくすると、すべてが静けさにつつまれました。エベレストの第2キャンプ地点でなだれが発生したのです。田部井さんは雪にうもれながら、ここで死んだら3歳の娘の紀子はどうなるのだろうと、そればかり考えていました。その後、ガイド役のシェルパにたすけだされましたが、田部井さんはしばらく立ちあがることもできず、呼吸もままならない状態でした。それでも、やめるという選択はありませんでした。

1975年5月16日、田部井淳子さんは女性ではじめてエベレスト登頂に成功し、世界の頂点に立ちました。はじめて田部井さんを見た人は、この偉業をなしとげたのが本当に彼女なのかとおどろくでしょう。田部井さんは身長は147センチ、体重は49キロほどのこがらな女性でした。数学を夢みていましたが、小学校4年生のとき、担任の先生がつれていってくれた登山で人生が一変します。山のとっぺんに着いたとき、これまでにないしあわせを感じたのです。だれもがとっぺんをめざして、いっしょに登るところに心ひかれたのです。



エベレストの頂上
8,848m



この地点で、なだれにおそわれました。

アン・ツェリンは、田部井さんを頂上までつれていったシェルパでした。

大学時代には男性といっしょに登山をし、1969年には女子登山クラブを結成します。そして1970年にはアンナプルナIII峰、1975年にはエベレスト登頂に成功しました。しかし、そこへいたるまでには、さまざまな困難をのりこえなくてはなりません。女性は家にいるべきだという考えから、スポンサーたちは田部井さんたち女性登山家を支持しませんでした。限られた資金のなかで準備をすすめたため、エベレストへ持っていくカラビナやロープは遠征に必要な数よりも少なく、車の防水シートを手ぶくろの補強代わりとしてつかわなくてはなりません。それでも、田部井さんとメンバーの女性たちは、目の前にたちはだかる困難の壁をうちやぶり前に進みます。そして、ついにエベレスト登頂に成功したのです。田部井さんは頂上に足をふみ入れ、日の

丸の旗を立てたとき、自分はひとりではなく14人の仲間といっしょだと、つよく感じたといいます。

その後2012年、田部井さんはガンと診断されました。しかし、自分をけって見失うことなく、気持ちは落ちついてたといいます。「充実した人生をおくってきた」。そういつて笑顔で病気とむきあいました。それから登山をつづけ、山を愛する女性たちのパイオニアとなって道を切りひらき、2016年、77歳でこの世を去りました。



ローツェ山
8,516m

田部井さんとメンバーの女性たちは、エベレスト遠征の準備に3年かかりました。山でつかうリュックも、自分たちでつくりました。

